

先進事例 紹介

女性消防団員は地域のかなめ ～女性ならではの活動を目指して～

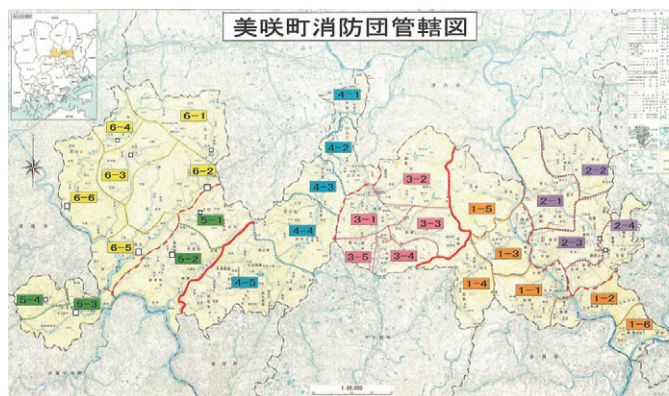
岡山県 美咲町消防団

1 はじめに

岡山県美咲町は、県のほぼ中央に位置する中山間地域で、平成17年3月に中央町・旭町・柵原町の3町が合併して誕生した人口約1万5,000人の町です。県内のみならず県外からも多くの人を訪れる「たまごかけごはん」をメインに、黄色は幸せを呼ぶ色であることから、「黄色」と「幸福」をかけあわせ「黄福のまち」として町づくりを展開しています。

そんな「黄福のまち」で活動している美咲町消防団は、地域を守る第1分団から第6分団、町全体をカバーする役場職員で構成する本部分団、そして、さくら隊・ラッパ隊の所属する機能分団という組織体系になっています。現在1本部、8分団、33部886人の団員が所属し、1市5町で構成された広域消防である津山圏域消防組合と連携しながら、住民の生命・財産を守るため日々努力しています。

管内図



2 機能分団さくら隊の主な活動

合併前の平成4年、旧旭町に女性部が発足して以来、合併後も引き続き活動を続けてきました。平成24年4月には、女性部専用の機具庫新築に伴い、本部付け女性部から“機能分団さくら隊”として独立、平成27年4月

には、新たに6人（うち大学生2人）の団員を迎え、現在36人で活動しています。防火・防災広報活動・団員加入促進活動などを主に行い、年々団員数は増え、幅広い活動が可能となってきました。

平成26年11月に開催された第20回全国女性消防団員活性化ちば大会では、活動事例発表を行い、また、平成29年開催予定の第23回全国女性消防操法大会に岡山県代表で出場が決定しています。



3 消防ポンプ付軽自動車配備

平成26年3月に総務省から消防ポンプ付軽自動車を貸与していただきました。以前は活動先には自家用車で向かっていましたが、貸与を受けた現在では、町内の行事やイベントには車輜で出動しています。消防車輜を展示し、住民に直接触れていただくことで消防団の活動に興味を持ち、消防団が身近な存在であることに気づいてもらうきっかけになるよう心がけています。



防火パレードでは音楽を流しながら“火の用心“の声かけを町内の保育園児たちと一緒に歩きながら行っています。また、町内全域を対象とした防火啓発パトロールを毎月2回以上行っています。録音機器などを使わず、マイクを使ってさくら隊団員自らが住民に心からのメッセージを伝えています。最初はとても緊張しましたが、住民の方に「パトロールの放送聞いたよ。気をつけるからね。」と言っていたときは、きちんと届いているのだと実感でき嬉しかったです。



防火パレード



防火啓発広報活動

また、新たに小型ポンプによる水出し訓練を始めました。指導部からホースの伸ばし方やポンプの使い方、合図の出し方など一から指導を受け、さくら隊だけで訓練ができるように邁進しているところです。

車輛の貸与を受けて大きく変わったところは、車輛を走らせるだけで“見せる”広報活動の幅が広がったところです。これにより、さくら隊の活動が住民の皆さんの目に触れる機会が増えたのではないかと感じています。さらに、子どもたちからも一段と興味を持ってもらえるよ



放水訓練

うになりました。さくら隊の存在や活動に興味を持っていただくことをきっかけとして、消防団員加入促進に大きく貢献しているのではと思います。



後方支援

4 まとめ

現在、消防団員確保が困難な中において女性消防団員の活動は、地域における消防・防災力の向上に重要な役割を担っています。今後は、車輛を有効活用し広報活動をより一層活発化するとともに、男性団員や地域との連携を深め、新入団員の確保、地域の安全・安心のため女性消防団ならではの活動を進めていきます。

将来的な人口減少に直面している美咲町において、自分たちの地域は自分たちで守ることが今後の重要な課題となってきています。そのためにも、一人ひとりが地域のために役立つ力を発揮すること、地域のために貢献することは誰にでも出来る身近なものだと感じてもらう活動の一翼を担えるよう努力していきたいと思っています。